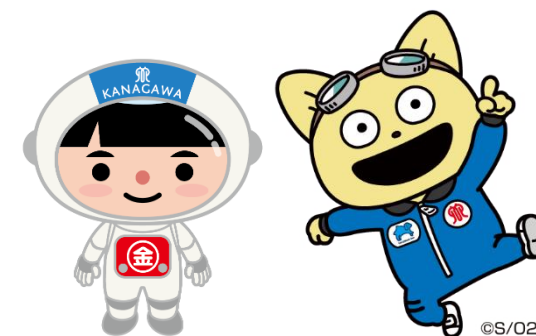




# 神奈川の宇宙関連産業の振興を考える有識者会議（第1回）

## 事務局説明資料

令和7年8月21日  
神奈川県産業労働局



1. 会議の設置目的
2. 環境認識
3. 県の主な取組（7年度）
4. 今後の県の取組の方向性（別紙）
5. 本日は議論いただきたい事項

# 1. 会議の設置目的

世界における宇宙産業の構造変革

- ・ 商業宇宙活動の加速
- ・ 宇宙ソリューション市場の拡大 など

国の「宇宙基本計画」の改訂や「宇宙戦略基金」の設置

国が設定した市場規模の拡大目標

この会議の設置目的

神奈川県宇宙関連産業の振興に必要な施策の方向性等について  
ご意見をいただく

# 国の「宇宙基本計画」

(令和5年6月13日閣議決定) (抄)

## 1. 宇宙政策をめぐる環境認識

- 「従来より、我が国の宇宙機器産業に対する需要は、部品産業を含めたサプライチェーンを維持するには不十分であり、その維持・強化は大きな課題であった」「世界のマーケットを念頭に、先端・基盤技術への投資や商業化への一層の挑戦が求められている」
- 「宇宙スタートアップから第1号の株式市場への上場案件が出てきたほか、大企業がスタートアップに出資し、共同開発・製造を目指すなど、宇宙産業エコシステムも新たなステージ」
- 「通信衛星コンステレーションによるブロードバンドインターネット、観測衛星を使ったインフラ管理や災害時の被災状況把握、測位・観測衛星を使ったスマート農林水産業等、新たな課題解決の手法（宇宙ソリューション）が生まれ、その市場が拡大」

## 2. 目標と将来像

- 「宇宙の利用を拡大することで、基盤強化と宇宙利用の拡大との好循環を実現し、自立した宇宙利用大国となることを目指す」

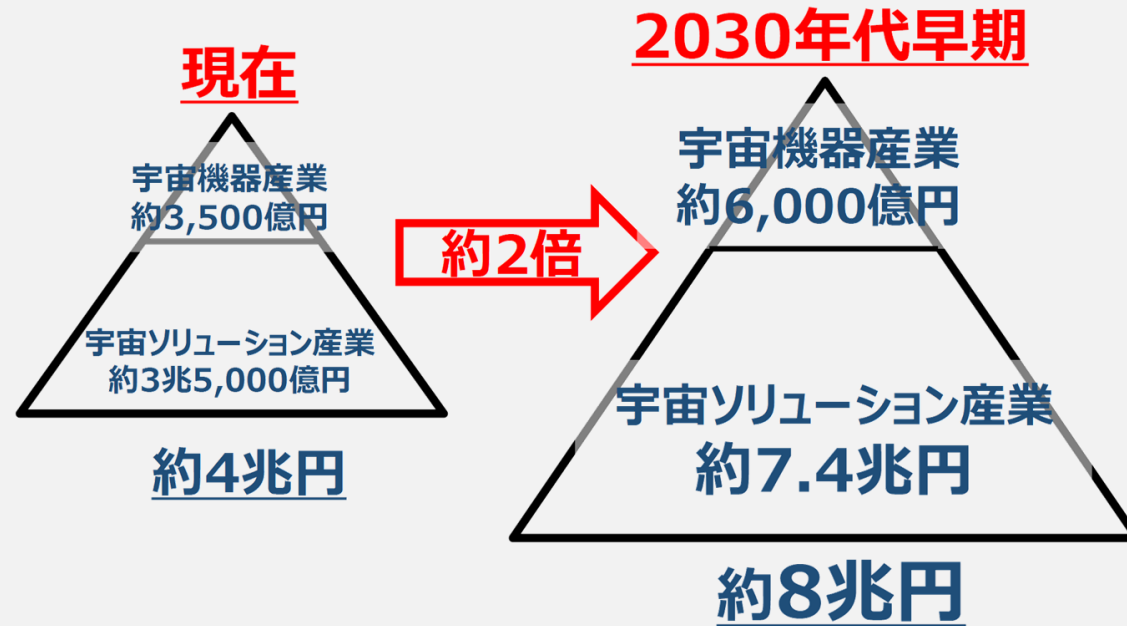
# 国の「宇宙基本計画」

(令和5年6月13日閣議決定) (抄)

## 2. 目標と将来像 (注：続き)

- 「宇宙機器と宇宙ソリューションの市場を合わせて、2020年に4.0兆円となっている市場規模を、2030年代の早期に2倍の8.0兆円に拡大していくことを目標」

(参考)



(出展) 日本航空宇宙工業会、「令和3年度宇宙産業データブック」等より引用し、内閣府が試算

【経済産業省「国内外の宇宙産業の動向を踏まえた経済産業省の取組と今後について」(令和6年3月)より抜粋】

# 国の「宇宙基本計画」

(令和5年6月13日閣議決定) (抄)

## 3. 宇宙政策の推進に当たっての基本的なスタンス

- 「欧米に比べて我が国の国内需要は小さく、部品産業を含めたサプライチェーンを維持するには**不十分**」「**国際市場で勝ち残る意志と技術、事業モデルを有する企業を重点的に育成・支援**していくことが重要」「**技術的優位性を獲得するだけでなく、コスト競争力の獲得等が必要**」
- 「**明確な成果目標を設定し、事前及び事後の評価を徹底することで、既存プロジェクトの徹底した効率化、合理化、メリハリ付け**を図りつつ、政策効果の最大限の発揮を追求」
- 「**JAXAを、産学官・国内外における技術開発・実証、人材、技術情報等における結節点として活用し、産学官の日本の総力を結集することで、宇宙技術戦略に従って、商業化支援、フロンティア開拓、先端・基盤技術開発などの強化に取り組む**」

## 4. 宇宙政策に関する具体的アプローチ

- 「日本が強みを持つ自動車部品、電子部品等の高性能・安価な民生技術の**宇宙転用には、放射線試験等の宇宙環境試験による性能確認が不可欠**であるが、**環境試験の機会が限定的**であることが技術の宇宙転用の障壁となっている」

# 国がJAXAに設置した「宇宙戦略基金」

- 「輸送」「衛星等」「探査等」の3つの分野において、**スタートアップをはじめとする民間企業や大学等が大胆に技術開発**に取り組めるよう、JAXAに新たに基金（総額1兆円規模）を設置。

宇宙戦略基金の技術開発テーマの例（「衛星等」「探査等」分野）

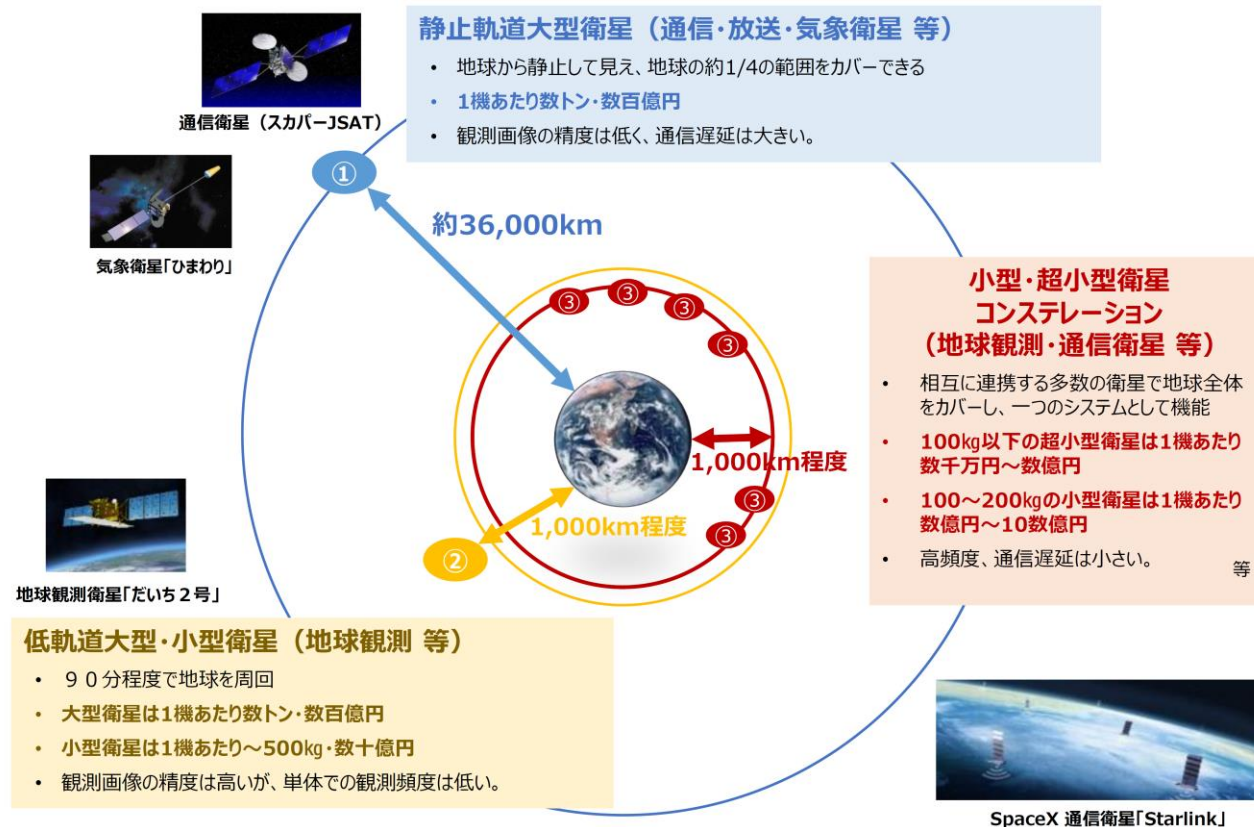
| 公募テーマ                                           | 公募開始日      | 公募テーマ                          | 公募開始日             |
|-------------------------------------------------|------------|--------------------------------|-------------------|
| 衛星等                                             |            | 探査等                            |                   |
| 衛星データ利用システム実装加速化事業                              | 2025.07.11 | 月極域における高精度着陸技術                 | 2025.07.25        |
| 衛星光通信の導入・活用拡大に向けた端末間相互接続技術等の開発                  | 2025.07.11 | 軌道上データセンター構築技術                 | 2025.07.25        |
| 国際競争力ある通信ペイロードに関する技術の開発・実証                      | 2025.07.11 | 船外利用効率化技術                      | 2025.06.27        |
| 空間自在利用の実現に向けた技術                                 | 2025.06.27 | 高頻度物資回収システム技術                  | 2025.06.13        |
| 衛星光通信を活用したデータ中継サービスの実現に向けた研究開発・実証               | 2025.06.27 | <b>月面インフラ構築に資する要素技術</b>        | <b>2025.05.16</b> |
| 地球環境衛星データ利用の加速に向けた先端技術                          | 2025.06.13 | （再公募）月面の水資源探査技術（センシング技術）の開発・実証 | 2025.02.14        |
| 衛星光通信の実装を見据えた衛星バス及び光通信端末の開発及び製造に関するフィージビリティスタディ | 2025.05.16 | 半永久電源システムに係る要素技術               | 2024.08.23        |
| 衛星サプライチェーン構築のための衛星部品・コンポーネントの開発・実証              | 2024.08.23 | 大気突入・空力減速に係る低コスト要素技術           | 2024.08.07        |
| 衛星データ利用システム海外実証（フィージビリティスタディ）                   | 2024.08.23 | 国際競争力と自立・自在性を有する物資補給システムに係る技術  | 2024.08.07        |
| 高精度衛星編隊飛行技術                                     | 2024.08.07 | 月測位システム技術                      | 2024.08.07        |
| 衛星量子暗号通信技術の開発・実証                                | 2024.07.26 | 低軌道自律飛行型モジュールシステム技術            | 2024.07.26        |
| 衛星コンステレーション構築に必要な通信技術（光ルータ）の実装支援                | 2024.07.26 | 低軌道汎用実験システム技術                  | 2024.07.26        |
| 高出力レーザの宇宙適用による革新的衛星ライダー技術                       | 2024.07.19 | 月面の水資源探査技術（センシング技術）の開発・実証      | 2024.07.05        |
| 高分解能・高頻度な光学衛星観測システム                             | 2024.07.19 | 月－地球間通信システム開発・実証（FS）           | 2024.07.05        |
| 商業衛星コンステレーション構築加速化                              | 2024.07.05 | 再生型燃料電池システム                    | 2024.07.05        |

## 神奈川県の特徴や強み

1. 神奈川県は、「競争力の高い産業の集積」や「充実した交通ネットワーク」などに特色や強み。
  - 自動車など輸送用機器をはじめとする「ものづくり分野」の産業の生産拠点が集積。
  - 企業の研究機関や大学などが数多く立地し、技術開発にかかわる高いポテンシャル。
  - 横浜港、川崎港、横須賀港といった国際貿易港、首都圏の広域的な道路網や鉄道網をはじめ、様々なネットワークが形成されている。更に、リニア中央新幹線の新駅も設置される。
2. 宇宙分野においては、既に「衛星といえば神奈川県」という声も聞かれる。
  - 相模原市、鎌倉市等には、国内屈指の衛星（完成品）メーカーの事業所が所在。周辺地域に所在する事業者を含めたサプライチェーンを構築。
  - 横浜市、大和市、茅ヶ崎市等には、きわめて高度な技術力を有し、衛星の部素材の供給、衛星データを利用したソリューションサービス、衛星の設計・製造の支援等を行う事業者が所在。
  - 相模原市には、日本の「宇宙科学研究の核」となる宇宙科学研究所（JAXA）が所在。

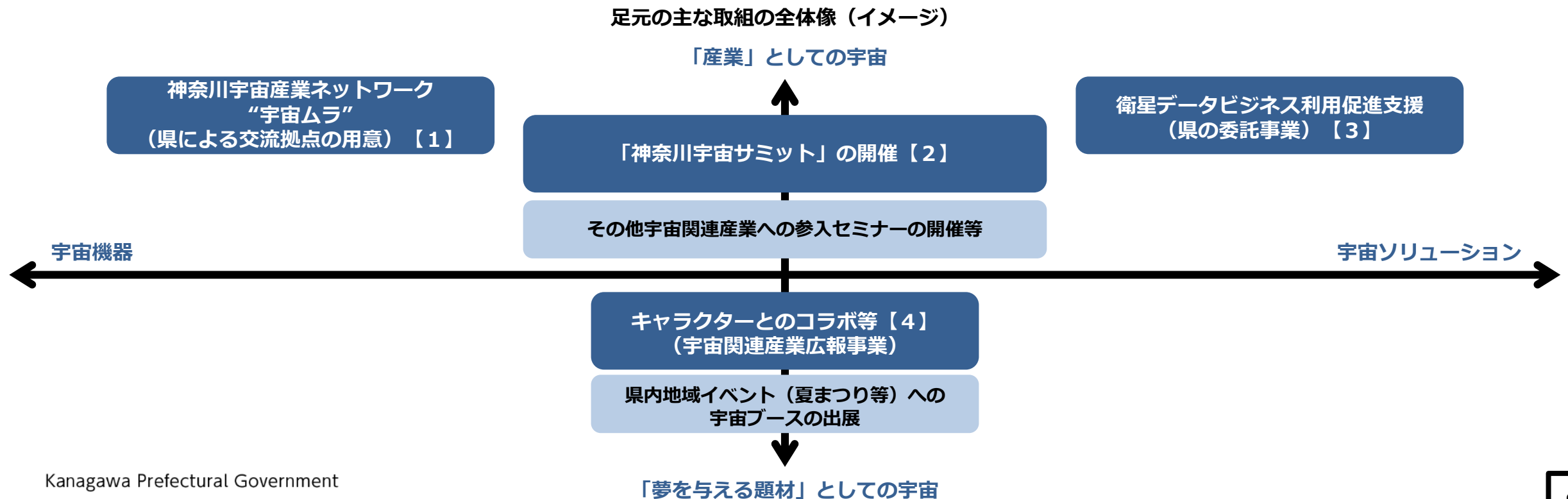
# 【参考】多種多様な衛星（軌道・サイズ）

- 宇宙分野において神奈川県が持つ強みの1つは「衛星」だが、衛星も多種多様であり、スタートアップを含め、携わる企業のビジネスモデルや課題はそれぞれ異なる。
- 宇宙関連産業の振興を効果的・効率的に進めるためには、そうした点にも留意する必要がある。



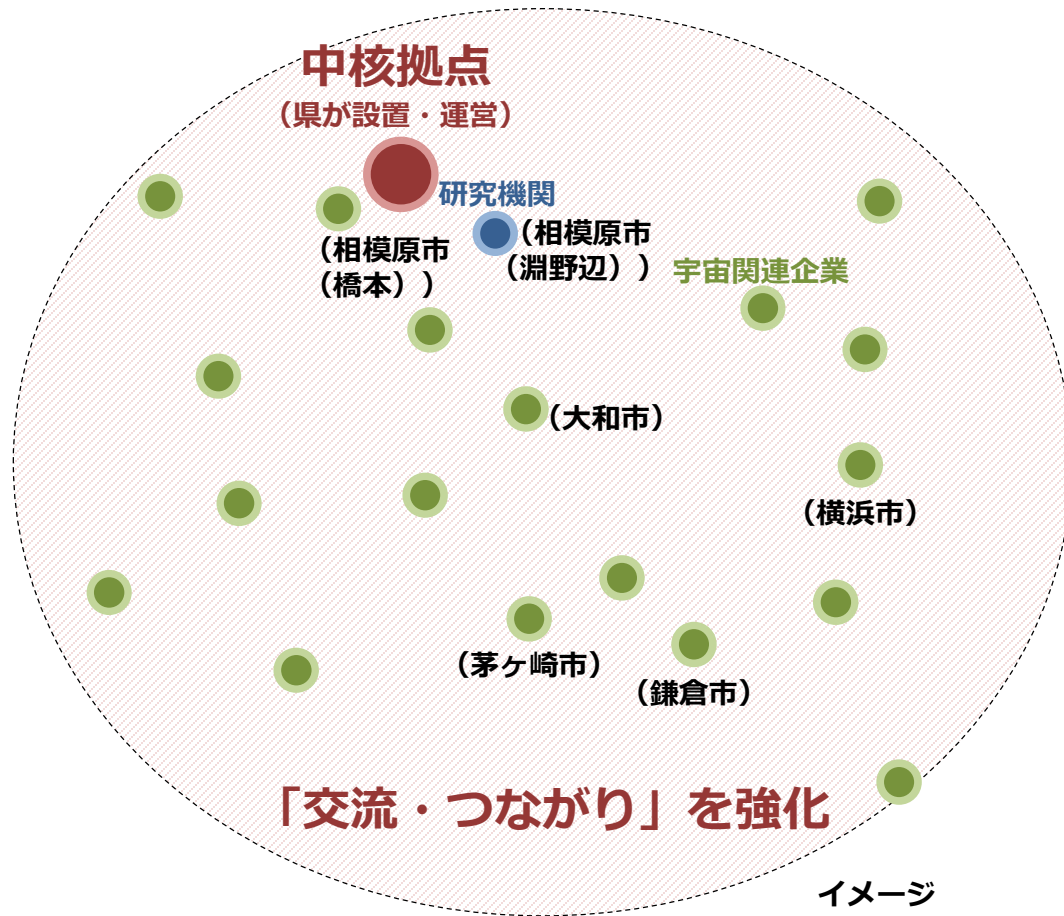
### 3. 県の主な取組（7年度）： 考え方と全体像

- 宇宙関連産業の振興に取り組むにあたっては、他の都道府県にはない**神奈川県**の**特色や強みを活かし**、数ある宇宙関連分野の中でも**神奈川県にとって「勝ち筋のある分野」**を特定した上で、**優先順位やメリハリ**を明確に意識し、**施策を効果的・効率的に進める**必要がある。
- なお、施策を進めるにあたり、**宇宙は「産業」であると同時に**、子どもたちを含め**「夢を与える題材」でもある**ことにも留意する。



# 【1】 神奈川宇宙産業ネットワーク “宇宙ムラ”

## 神奈川宇宙産業ネットワーク “宇宙ムラ”



(目的)

- 県内の宇宙関連企業（参入検討中の企業を含む）、研究機関等の「交流・つながり」を強化
- アイデアや人材などが県内で相互に行き来する「神奈川宇宙産業ネットワーク “宇宙ムラ”」の構築を目指す

(施策)

- 県は“宇宙ムラ”の中核拠点として、橋本駅の周辺地域に約300㎡規模のオフィス・ラボを用意。企業、研究機関等に開放
- さらに、同拠点では宇宙関連セミナーや交流会を定期開催

## 【2】「神奈川宇宙サミット」の開催

（目的）

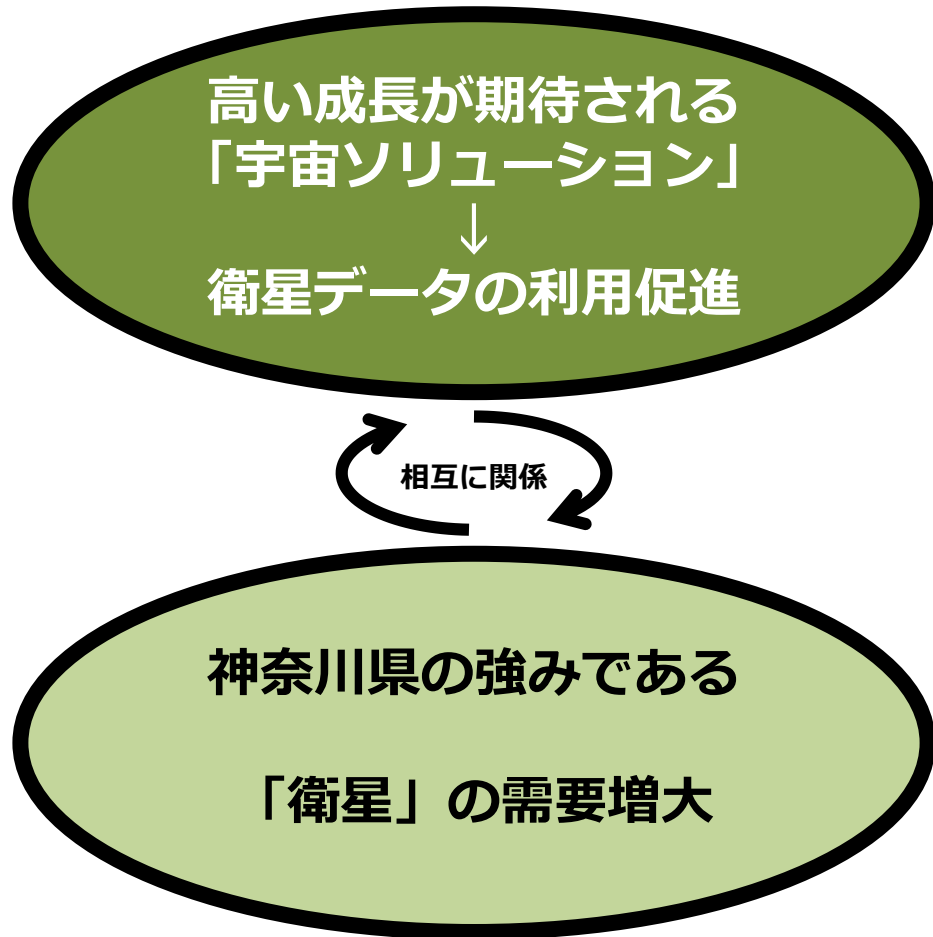
- 宇宙関連企業の集積に向けた**機運醸成**
- 参加者同士の**ネットワーキング・ビジネス機会の創出・参入促進**
- 企業が自社の技術や製品・サービスをPRできる場の提供（**共創の機会の創出**）

（施策）

- 「首都圏自治体初の大規模宇宙ビジネスカンファレンス」として、令和8年2月5日に「神奈川宇宙サミット」を開催
- JAXA、宇宙関連企業、中小企業支援機関、自治体等から構成される「**実行委員会**」（主催者）を組織。様々な主体の知見を活用して、魅力あふれるイベントにしていく



## 【3】衛星データビジネス利用促進支援



（目的）

- 県内の事業者における**衛星データの利用促進**（「衛星」の**需要増大**にもつなげる）
- 同時に、衛星データ利用を通じて、**神奈川県の地域課題解決**に貢献

（施策）

- 県内の事業者を対象に、**衛星データの利用に関するセミナー、ワークショップ、交流会**を開催
- 概ね3年以内に県内の事業者に製品・サービスを提供しようとする**衛星データビジネス（モデル）を募集。事業化を支援**

### 3. 県の主な取組（7年度）：

## 【4】キャラクターとのコラボ等（宇宙関連産業広報事業）

（目的）

- 子どもたちを含め宇宙を身近に感じてもらい、興味関心を持ってもらう
- 宇宙関連産業やその振興に向けた取組の認知度向上

（施策）

- 「宇宙応援アンバサダー」として「宇宙なんちゃら こてつくん」が就任
- 子ども向けイベントの開催等も行い、「将来における宇宙人材」の育成のきっかけにも



## 4. 今後の県の実施の方針

(別紙)

## 5. 本日は議論いただきたい事項

1. 「宇宙」について神奈川県が有する（他の都道府県にはない）「強み」は何か。また、数ある宇宙関連分野の中でも神奈川県にとって「勝ち筋のある分野」は何か。

分野の例：1）宇宙輸送（ロケット）、2）衛星、3）探査、4）地上向け既存製品（例：保存食品）の宇宙利用（「宇宙の仕向地化」）、5）県内宇宙関連施設の「観光資源化」

2. 今後宇宙関連産業の振興の施策を、県として、さらに効果的・効率的に進めるため、何に留意すべきか。優先順位やメリハリを、どのようにつけるべきか。

参 考：「民間」が取り組むべき領域と「行政」が取り組むべき領域  
「県」の施策と「国」の施策の役割分担（すみ分け）・相互連携

3. 宇宙は「産業」であると同時に、子どもたちを含め「夢を与える題材」。県としては、こうした側面にも配慮して施策を進めていくが、留意すべき点はあるか。

4. このほか、今後に向けて、県として留意・検討していくべき点はあるか。